



TEL : 042-770-9906    FAX : 042-77-9918  
Email : [nojizach.jp](mailto:nojizach.jp)

# NSJ-200 使用説明書

NSJ-200 は、現像機、剥離機の槽やパイプに付着したカスを洗浄・除去する薬品です。

よりよい製品をよりよい環境のもとで製造するためには、常に機械をベストコンディションに維持することが前提となります。

NSJ-200 を使用すれば、夏休みや正月休みの前だけにしかできなかった機械洗浄という作業を手軽に1ヶ月に一度、1週間に一度行うことができます。

また、機械をきれいにしておくことは機械寿命を延ばし、修理といった高額出費の未然防止にもなります。

## 概 要

NSJ-200 は、現像・剥離装置から、フィルム、炭酸塩、硬水、およびフォトポリマーの残留物を取り除くため開発された弱酸性洗浄剤です。

## 性 状

色調：橙色透明液体

PH：1.5±0.1（50%液 25℃）

比重：1.02±0.02（原液 20℃）

臭気：マイルドな微臭

## 適 用

NSJ-200 は、特にソルダーレジストの現像機やL P Iのソルダーマスク用現像機、洗浄用として開発されました。

## 使用方法

構成：現像機及び剥離機に NSJ-200 をスカムの量に応じて1倍～2倍に希釈して使用してください。

温度：20℃～45℃

時間：1時間以上循環(攪拌)してください。

## 現像機・剥離機の洗浄

### 作業手順

1. 槽内の液体を排出してください。（できるだけ余分な液体は取り除く）
2. 槽に **NSJ-200** を建浴してください。
3. 機械のヒーターを約 20℃～45℃以上に合わせてください。
4. 残留物が取り除かれるまで機械を約 3 時間～4 時間作動させ、液を循環させる。

注)メンテナンスとの期間があいている機器に関しては、指定時間以上の洗浄が必要とされ場合があります。

5. **NSJ-200** を容器に移します。
6. 槽内に水を張り、水洗を 2 回行います。
7. 現像液を槽に入れ循環させます。
8. 廃液しましたら終了です。

### 設備器材

**NSL-200** は、PVC、ポリプロピレン、ポリエチレン、チタニウム、ステンレススチール、ビトン、テフロンと共存できます。

ただし、亜鉛もしくは、アルミニウムと一緒に使用しないでください。

### 安全に関して

**NSJ-200** は、弱酸性です。直接肌に触れた場合は、早急に多量の冷水で洗い流してください。炎症の兆候が出たら、医師に相談してください。目は常に保護してください。誤って液体が目に入った場合は、応急処置として少なくとも 15 分冷水で洗い流し、その後、直ちに医師の診断を受けてください。

### 保管方法

開封後は密封し、冷暗所で保存をしてください。直射日光を避け、強酸と共に置かないよう気をつけてください。

### パッケージ

20Kg のドラム容器入りまたは 200kg 入りドラム

## 現像機洗浄作業手順

STEP 1

廃液排水

廃水タンクへ  
廃液終了時バルブを必ずしめる

STEP 2

NSJ-200 建浴

NSJ-200 を建浴する  
ハンディポンプを使用し周囲に  
液がこぼれないように注意する

STEP 3

処理作業(ポンプ循環)

液温 20℃～45℃で  
1時間以上  
ノズルチェックし詰まりがな  
いか確認する

STEP 4

水洗(ポンプ循環)

洗浄終了後「NSJ-200」をドラムに戻す。

25℃～30℃で30分  
水洗を2回～3回行う

STEP 5

現像液にて中和

中和槽に排水、又は廃液業者にて処分

現像液または剥離液の建浴  
を行ってください

STEP 6

現像液を建浴

§ 洗浄作業のポイント

1. 作業する前に防護面等を着用し安全に行える準備をする。
2. NSJ-200 を建浴するときは液はねに注意する。

3. 液温を 40℃以上にする。出来ない場合は液循環時間を長くする。
4. シャワー圧が上げられればより洗浄効果があがる。

#### ☆作業時の注意事項

1. 「NSJ-200」は弱酸性薬品です。  
洗浄作業を行う場合は手袋、防護めがね等を必ず使用すること。
2. 作業時に操作盤の設定を変えた部分、温度、スプレー圧、排水経路を洗浄終了時に必ず復帰する。（元に戻す）
3. 「NSJ-200」で洗浄する場合、事前に廃水処理設備担当に連絡を入れる。